

『禅研究所紀要』第五十号記念特輯刊行のことば

禅研究所所长 岡 島 秀 隆

『禅研究所紀要』第五十号記念特輯の刊行にあたり、投稿執筆者各位ならびに紀要編集者・出版社の皆様
に厚くお礼申し上げます。

さて、本紀要の変遷を振り返りますと、『禅研究所紀要』創刊号は、昭和四十六年（一九七一年）五月に
刊行されています。巻頭言は当時研究所二代所長に就任された田島柏堂先生でした。昭和三十四年（一九五
九年）に創刊され、五号まで続いた『禅学研究』を廃して、この年に現在の誌名に改称されました。執筆陣
には、永久岳水・若山超関・山本平一郎・諏訪義純・伊藤猷典・宮沢辰三・鈴木哲雄の錚々たる碩学が名を
連ねています。その後、昭和五十年には「太祖瑩山禅師六百五十回大遠忌奉讃 特輯」（四・五合併号）、昭
和五十一年には「大学百周年記念号」（六・七合併号）が発刊されています。また、平成三年には「開所二
十五周年開単十周年記念号」（十八・十九合併号）、平成十三年には「開所三十五周年記念」（二十九号）、平

成十四年には「第三十号記念特輯」が発行されました。平成十三年四月には、論文情報のデジタル化と研究成果の公開が要請される中で、『禅研究所紀要』執筆規程を整備して紀要作成の基本的条件を整備充実させました。また、平成二十七年に本所ホームページをリニューアルした折には、紀要掲載論文のPDFファイルを可能な限り掲載し公開を始めました。新たな寄稿論文の公開作業は現在も継続しています。

本紀要は、『禅学研究』の時代も含めて六十年以上の歴史を刻んできました。各号の発行にはさまざまな紆余曲折もありましたが、学校法人の財政的支援と紀要誌発刊の趣旨を理解し論文を寄稿して下さった諸賢、並びに制作にご尽力を頂いた皆様のご支援により今日まで巻を重ねることができました。五十号刊行にあたり厚くお礼申し上げます。

これからも、本紀要が研究所を担う多くの若い研究者達の叡智によって、さらなる進化を遂げ、将来の禅・仏教研究に資するものとなることを期待する次第です。